武蔵村山市立小中一貫校　村山学園

学園だより

令和７年度１月号
統括校長　井内　潔
令和８年１月８日

【教育目標】　人にやさしく　自分に強く　英知を磨く村山の子

http://musashimurayama.ed.jp/mmced4s/

午年に寄せて　未来へ挑戦

統括校長　井内　潔

新しい年を迎え、地域や保護者の皆様に心よりお慶び申し上げます。

昨年一年間、地域や保護者の皆様には本校の教育活動に多大な御理解と御協力を頂き、誠にありがとうございました。子供たちは、皆様の温かい支えのもとで、学びを深め、心身ともに大きく成長することができました。改めて心より感謝申し上げます。

令和８年は干支で「午（うま）」の年です。古来より馬は、力強く前へ進む象徴とされてきました。馬は、険しい道でもたくましく歩み続け、目的地に向かって駆け抜けます。その姿は、これからの時代を生きる子供たちに重なります。社会の変化が激しく、予測が難しい時代だからこそ、子供たちには自ら考え、挑戦し、未来に向かって力強く進む力を身に付けてほしいと願っています。

本校では、今年も教育目標「人にやさしく　自分に強く　英知を磨く　村山の子」の下、村山学園の「目指す児童・生徒像」の実現を引き続き継続してまいります。

① 自ら学ぶことができ、基礎的・基本的な学力が身に付いている子
② 自分で考えることができる子
③ 自分で判断することができる子

学力の向上はもちろん、仲間と協力し、思いやりをもって行動できる力を育てることが大切です。知識を身につけるだけでなく、それを活用し、課題を解決する力を養うことが求められています。そのために、授業改善やＩＣＴの活用を更に充実させ、子供たちが主体的に学び、意欲を持って取り組める環境づくりを進めます。読書活動や体験活動をとおして、豊かな感性や表現力を育てることにも力を入れてまいります。こうした取組を通じて、子供たちが「自分の言葉で考えを伝える力」を身に付けることを目指します。

さらに、「まちづくり学習」を充実させます。学校は地域に支えられて存在しています。子供たちが地域の課題や魅力を学び、地域の方々と協働して解決策を考えることは、未来を担う力を育む大切な学びです。地域の歴史や文化を知り、地域の人々と対話しながら、自分たちの暮らすまちをよりよくするために何ができるかを考える活動を進めます。こうした学習を通じて、子供たちは「自分も地域の一員である」という意識を高め、社会に貢献する姿勢を育んでいきます。

地域や保護者の皆様には、引き続き御理解と御協力をお願い申し上げます。学校と家庭、そして地域がしっかりと手を携え、子供たちの健やかな成長を支えていくことが何より大切です。本年もどうぞよろしくお願いいたします。